

①日本知特許庁(JP) ②実用新案出願公開
 ③公開実用新案公報(U) 平2-61326
 ④Int.Cl. A 61 F 13/15 13/46
 ⑤識別記号 序内整理番号 ⑥公開 平成2年(1990)6月8日
 6737-4C A 61 F 13/18 300
 6054-3B A 41 B 13/02 B
 ⑦審査請求 未請求 ⑧請求項の数 3 (全頁)

⑨考案の名称 吸収性物品
 ⑩実 請 願 63-140179
 ⑪出 願 63(1988)10月27日

⑫考案者 岩谷 利昭 神奈川県川崎市中原区戸塚138番地 ロイヤルハイツ甲子A-206
 ⑬考案者 黒崎 効 神奈川県川崎市中原区上平町241 ライオン川崎
 ⑭出願人 ライオン株式会社 〒560-0001 京都市墨田区本所1丁目3番7号
 ⑮代理人 弁理士 林 宏 外1名

明細書

1. 考案の名称

吸収性物品

2. 實用新案登録請求の範囲

1. 透水性の表面材と、不透水性の防漏材、及び吸水性材料からなる吸収体とを有する吸収性物品において、

上記吸収体の少なくとも表層部を複数の細幅帯状部片により構成し、これらの帯状部片を所定間隔をおいて並設すると共に、各帯状部片をそれらに被設した透水性シートにより相互に隔離状態に止着し、吸収体の中央部に位置する帯状部片の体液吸収速度を両側部に位置する帯状部片の体液吸収速度より相対的に高めてなることを特徴とする吸収性物品。

2. 吸収体の少なくとも帯状部片が、セルローススポンジを圧縮してなる圧縮セルローススponジシートにより構成されていることを特徴とする

334

1

実開2-61326

公開実用平成2-61326

実用新案登録請求の範囲第1項記載の吸収性物品。

3. 吸収体の中央部に低密度の圧縮セルローススponジシートからなる帯状部片を配置してあることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第2項記載の吸収性物品。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、生理用ナプキン、紙おむつ等の吸収性物品に関するものであり、更に詳しくは、体との密着性及び体液の漏れ防止性を改良した吸収性物品に関するものである。

〔従来の技術〕

今日市販されている生理用ナプキンや紙おむつ等の吸収性物品は、一般に、綿状バルブ、吸収紙、吸水膨潤性ポリマー等からなる吸収体と、ポリエチレンフィルム、防水紙等からなる不透水性の防漏材と、その表面を被覆する透水性の表面材

とで構成されている。

ところが、このような従来の吸収性物品は、吸収体が綿状バルブを平板状に積層したシート状のものを主体に構成されているため、強度や保形性の点で難点があり、使用中に体の動きによって該吸収体が切れたり、よれて塊になり易く、そのため体とナプキンの密着不良が起こるという欠点を有していた。そして、この現象は、吸収体が血液や尿等の体液を吸収した後に特に頭著に現われ、それが経血や尿の漏れを生じる大きな原因となったり、更には、着用者に異和感を与えるという欠点があった。

そこで、このような欠点を改良するため、種々の提案がなされている。例えば、実開昭55-7700号公報には、ナプキンの幅方向両側部の一部を凹欠したものや、ナプキンの幅方向両側部が折曲し易いように圧縮条筋を設けたもの等が開示され、その一部が実用に供されている。